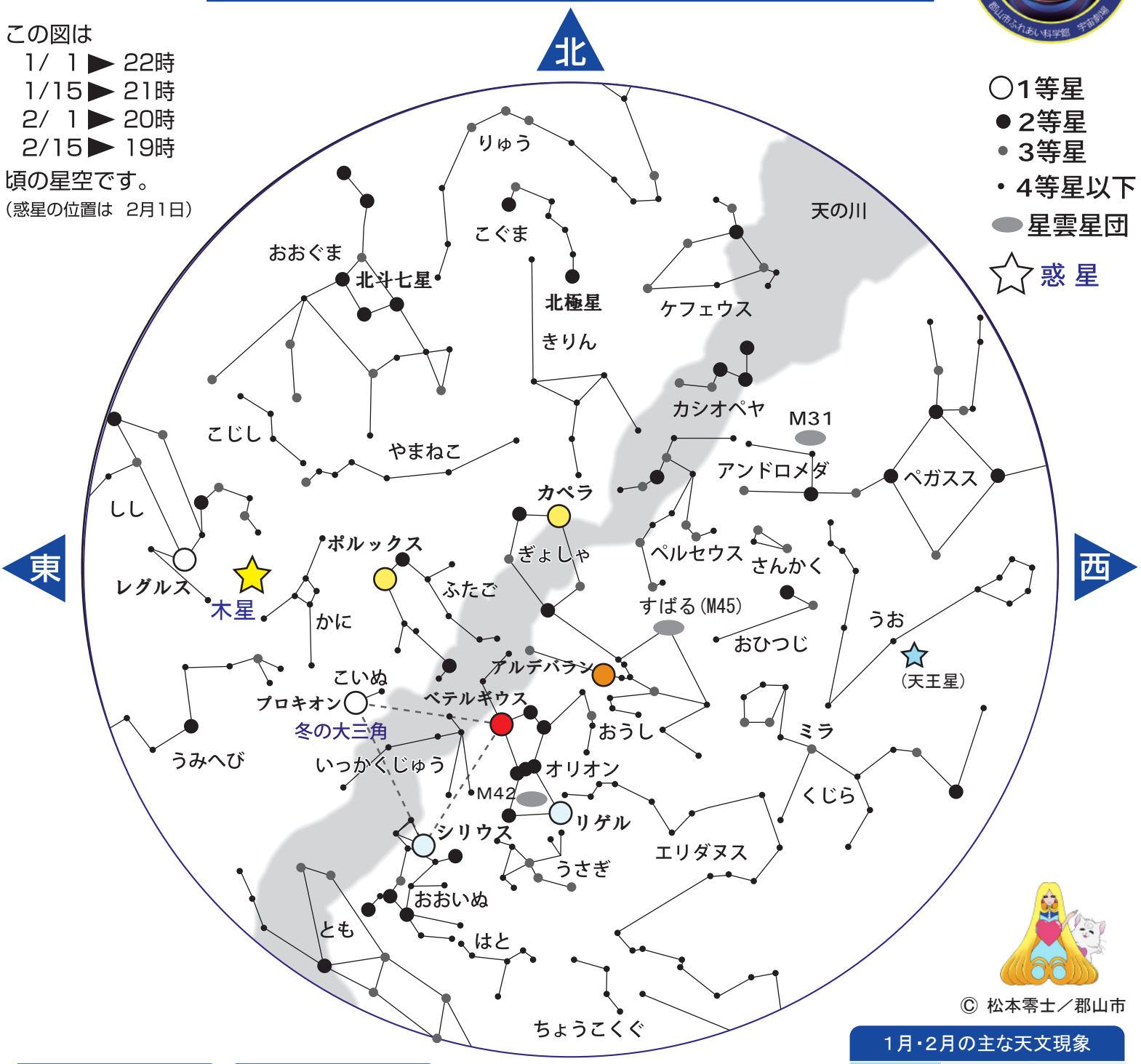
2015年 1月▶2月の星空

この図は
1/ 1 ▶ 22時
1/15 ▶ 21時
2/ 1 ▶ 20時
2/15 ▶ 19時
頃の星空です。
（惑星の位置は 2月1日）



© 松本零士／郡山市

郡山の日の出.日の入		
1/ 1	6:50	16:40
1/15	6:49	16:52
2/ 1	6:41	17:09
2/15	6:28	17:24

月の満ち欠け	
新 月	1/20, 2/19
上 弦	1/27, 2/26
満 月	1/ 5, 2/ 4
下 弦	1/13, 2/12

※上弦、下弦は半月です。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 4	しぶんぎ座流星群が極大
1/15	水星が東方最大離角
2/ 4	立春
2/21・22	月と金星・火星が接近

１年間で最もにぎやかな星空が見える季節となりました。一番冷え込む季節でもありますが、空が澄みわたり星がよく見える日も多くなります。観望をする際には十分に暖かい恰好をしてご覧ください。

年明け早々、毎年恒例のしぶんぎ座流星群（りゅう座イオタ流星群）が見頃となります。今年は明るい月が輝くため、条件がよくありませんが、明け方前の北の空に注目してみてください。

冬の星座には最も明るく見える「シリウス」を始めとして一等星が７つも輝いています。街灯りの中からでもきらびやかな星空が見えることでしょう。「ベテルギウス」、「シリウス」、「プロキオン」の３つの一等星でできる「冬の大三角」もぜひ探してみてください。

星座たちと共に惑星も冬の星空を彩っているのが見られます。１月半ばには水星が東方最大離角となり、夕方の西の空で見頃となります。２月の下旬には西の空で月と金星・火星が接近して輝く様子も見えます。

東の空では木星が春の星座の代表であるしし座を先導するように昇って来ます。これが見えてくると寒い中でも少しずつ、春が近づいていることがうかがえます。